

2023年4月18日

筆頭著者 仲地 耕平医師の研究論文

胆道癌根治術後の補助療法で初の有効性 The Lancet に掲載されました!!

栃木県立がんセンター腫瘍内科 科長 仲地 耕平医師が筆頭著者の研究論文が、世界的医学雑誌「The Lancet^{※1}」に掲載されました。

胆道癌根治手術後の患者さんを対象に経過観察と S-1 による補助療法を比較した第Ⅲ相試験で、統計学的に補助療法の有用性(生存期間の延長)を示したのは本試験が世界で初めてのことです。

今後、胆道癌ガイドラインにも反映されると考えられます。

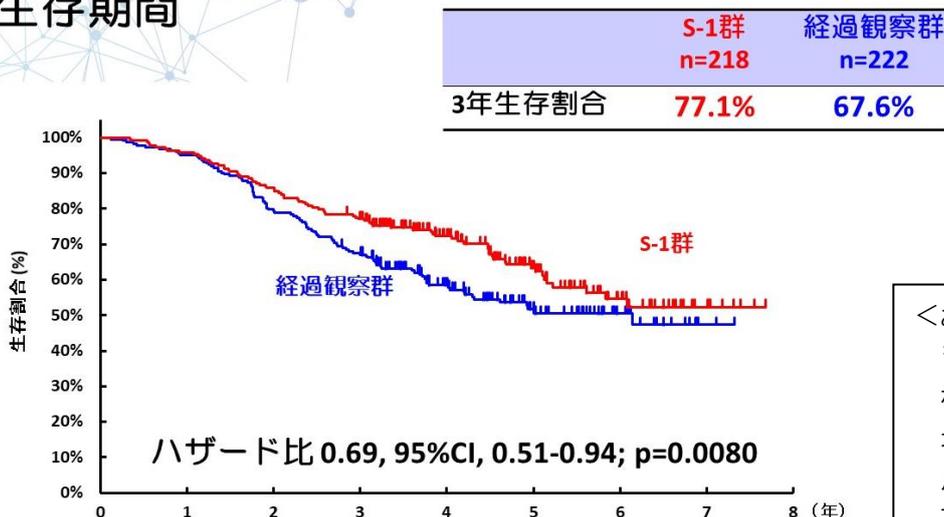
※1 『ランセット』(英語: The Lancet)は、週刊で刊行される査読制の医学雑誌。世界で最もよく知られ、最も評価の高い世界五大医学雑誌の一つ。最も高いインパクトファクターを有する。

本研究は、JCOG^{※2}の肝胆膵グループに所属の全国の38施設で行われ、根治手術が施行された胆道がんの患者さん440人を対象に、S-1 補助療法を行うことが、術後経過観察よりも優れているかを検証するため、ランダム化第Ⅲ相試験(JCOG1202/ASCOT 試験、研究代表者:国立がん研究センター東病院 小西大、研究事務局:同 池田 公史、栃木県立がんセンター 仲地 耕平)を実施しました。その結果、S-1 補助療法を行うことで、生存期間が有意に延長することが示されました。今後、日本のガイドラインが新たな標準治療に書き換えられる予定で、胆道がんの患者さんに対してエビデンスに基づいた治療の提供が可能となります。

本試験の成果は、英国学術雑誌「The Lancet」で発表(2023年1月21日付)されました。

※2 日本臨床腫瘍研究グループ(Japan Clinical Oncology Group:JCOG)では、科学的証拠に基づいて患者さんに第一選択として推奨すべき治療である標準治療や診断方法等の最善の医療を確立するため、専門別研究グループで全国規模の多施設共同臨床試験を実施しています。

全生存期間



S-1群で有意に良好な生存期間が示されました

<お問い合わせ>

〒320-0834

栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

地方独立行政法人栃木県立がんセンター

広報広聴センター 安部

TEL028-658-5151(代表)

【HP】<https://www.tochigi-cc.jp>

